

## 岩手県立特別支援学校整備計画策定（概要）について

岩手県教育委員会事務局  
学校教育課特別支援教育担当

## 1 特別支援学校整備計画策定の趣旨

全県的な特別支援学校の教育環境を整備するため、特別支援学校の整備計画を策定し、計画に基づき、市町村などの関係機関との調整を進める。

## 2 特別支援学校整備計画の位置づけ

## (1) 「いわて県民計画（2019～2028）」

Ⅲ 教育					
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます					
県が取り組む具体的な推進方策					
② 特別支援教育の多様なニーズへの対応					
・全県的な特別支援学校の教育環境を整備するため、特別支援学校の整備計画を策定し、計画に基づき、市町村などの関係機関との調整を進めます。					
<具体的な推進方策（工程表）> ※一部抜粋					
県が取り組む具体的な推進方策	工程表（4年間を中心とした取組）				
	～2018	2019	2020	2021	2022
② 特別支援教育の多様なニーズへの対応		●	特別支援学校整備計画の策定	→	特別支援学校の教育環境の整備

## (2) 「岩手県教育振興計画」

第3章具体的な施策の内容					
【I 学校教育】					
5 特別支援教育の推進					
(3) 目指す姿を実現するための取組の方向性					
2 特別支援教育の多様なニーズへの対応					
・全県的な特別支援学校の教育環境を整備するため、特別支援学校の整備計画を策定し、計画に基づき、市町村などの関係機関との調整を進めます。					
<具体的な推進方策> ※一部抜粋					
具体的な推進方策	5年間の取組（工程表）				
	2019	2020	2021	2022	2023
② 特別支援教育の多様なニーズへの対応		●	特別支援学校整備計画の策定	→	特別支援学校の環境整備

## (3) 「いわて特別支援教育推進プラン（2019～2023）」

<b>支える ～教育環境の充実・県民理解の促進～</b>					
(1) 多様なニーズに対応した教育諸条件の充実					
特別支援教育を推進するためには、多様なニーズを把握しながら、総合的観点による教育環境の検討を行ったうえで充実させていくことが大切です。～略～					
なお、特別支援学校における教育諸条件については、特別支援学校整備計画を別途策定し、具体的な実行計画として進めていくものとします。					
特別支援学校における教育諸条件の充実					
★特別支援学校の整備推進					
<県（学教）、県（教職）、県（教企）>					
・特別支援学校整備計画の策定と推進					
2019	2020	2021	2022	2023	
◆特別支援学校整備計画の策定	→				
	◆特別支援学校整備計画の推進				→

### 3 これまでの特別支援学校整備計画

- ・平成 19 年度以前については、地域の現状や全県的な課題等を踏まえながら、計画的に盲・聾・養護学校設置等を整備
- ・平成 19 年 4 月に「県立特別支援学校（盲・聾・養護学校）再編整備計画」を策定し、以下の方針により推進（平成 19 年～22 年）

- ▶ できるだけ身近な地域の学校への就学受入（単一障がい・複数障がい対応再編、分教室設置等）
- ▶ 義務教育段階の教育の整備（教育課程の整備、学級数の整備等）
- ▶ 高等部段階の教育の整備（高等部設置等）
- ▶ 児童生徒等の障がいの重度・重複化、多様化への対応（特別学級設置等）
- ▶ 通学形態・通学ニーズへの対応（通学バス拡大、寄宿舎維持等）
- ▶ 共に学ぶ教育の推進（交流・共同学習の推進）
- ▶ 特別支援教育センターとしての機能充実（担当教員の確保、専門性向上等）
- ▶ その他（学校給食導入検討、ユニバーサルデザインに基づく設計等）

- ・平成 22 年度末の東日本大震災津波発災により、平成 23 年度以降の特別支援学校整備計画の策定を中断
- ・平成 23 年以降の整備に係る主な動きは、以下のとおり

- ▷ 盛岡みたけ支援学校二戸分教室中学部・高等部の開設
- ▷ 花巻清風支援学校特別支援教室棟の増築
- ▷ 花巻清風支援学校北上みなみ分教室小学部・中学部の開設
- ▷ 療育センター移転に伴う盛岡となん支援学校の新築移転
- ▷ 前沢明峰支援学校特別教室棟の増築
- ▷ 盛岡となん支援学校跡地（空き校舎）を活用した新設校設置：盛岡ひがし支援学校の開校
- ▷ 釜石祥雲支援学校移転新築に向けた校舎等の設計